

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	天気の良い日は、希望者を募り散歩に出たりしているが車いす使用者が増えてきたことで業務状況との関係もあり、全員の希望を叶えるのが難しい状況となっている。	四季の移ろいを肌で感じることができるよう、できるだけ多くの利用者が散歩に出かけることができるようにする。	ご家族にお願いしたり、散歩の付き添いや、車いすを押すボランティアを探し協力を得るなど、社会資源を活用してみる。	6ヶ月
2	26	計画作成担当者は、ご家族から面会時や電話で、意向・要望を確認しているが、より良い介護計画にするためにサービス担当者会議に参加するご家族がほとんどいない状況を何とか打開したいと考えている。	ご家族にサービス担当者会議に参加してもらい、ご本人・ご家族・職員にとってより良い介護計画を作成し、共有する。	ご家族がサービス担当者会議に参加する意義・大切さを説明し、今後も粘り強く継続して、参加してもらえるように働きかけていく。	6ヶ月
3	35	併設のショートステイと合同の避難訓練を年2回行っている。グループホームが2階にあるため、災害時の避難が課題となっているが、引き続き避難方法を模索している状況である。	近隣住民にご利用者の状況や施設内の環境を知ってもらうようにする。	より安全な避難方法が行えるよう情報を集めるとともに、例えば、年2回行っている避難訓練に近隣住民を招いたり、多くの近隣住民が集まる納涼祭等のイベントの時に見学してもらったり、今後も近隣住民の理解と協力が得られるよう働きかけていく。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。